

建築物耐震診断等概要表

1 建物概要												
建物名、建物区分(棟番号)	5 高槻市立 阿武野保育所 RC棟											
面積(対象面積)	631.880 m ² (593.58 m ²)											
用途	保 育 所											
建築年月日、構造、階数	昭 和 46 年 5 月 26 日 、 RC造 、 地上 1 階建											
設置者名/申込者名	高 槻 市 長 / [REDACTED]											
所在地	高槻市宮田町2丁目34-18											
申込み要件	<input checked="" type="checkbox"/> 耐震診断 <input type="checkbox"/> 耐震補強計画 <input type="checkbox"/> 総合判定											
基礎、地盤条件	独立基礎											
構造上の特徴	平面(<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ整形・ <input type="checkbox"/> 不整形)、 立面(<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ整形・ <input type="checkbox"/> 不整形) 構造形式 (X方向: 耐震壁付ラーメン構造 Y方向: 耐震壁付ラーメン構造) 極脆性柱 (<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無)、 下階壁抜 (<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無) 平面柱抜 (<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無)、 PCa屋根 (<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無)											
2 診断方針												
診断法(計算法)	<input type="checkbox"/> 第2次診断、 <input type="checkbox"/> 第3次診断、 <input type="checkbox"/> 屋体診断基準、 <input type="checkbox"/> 応答解析、 <input checked="" type="checkbox"/> その他(第1次診断) (<input checked="" type="checkbox"/> 手計算、 <input type="checkbox"/> 電算機)											
電算ソフト(バージョン)/(作成者)	Microsoft Excel											
診断実施者(資格)	[REDACTED]											
連絡先住所(TEL/FAX/E-mail)	[REDACTED]											
診断実施年月日	平成 24 年 11 月 26 日											
材料調査: 調査値(標準偏差)	コンクリート: 調査値= 24.4 (4.9) 設計値(Fc)= 18 診断使用値= 18 (N/mm ²)											
設計値、診断使用値等	鉄筋: SR24 設計値(σy)= 235 診断使用値= 294 (N/mm ²) (7. 特記) 鉄骨: 設計値(σy)= 診断使用値= (N/mm ²)											
3 診断結果 (Is2又はIs3、CtSD又はqStを*欄に付記して記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入)												
	補強前		補強後		* (調査および診断に関する所見)							
	Isx	* Isy	Isx	* Isy								
5F					目標値: Iso=0.8 本物件は壁式鉄筋コンクリート造の建物であり、耐震一次診断による耐震指標値(Is値)の最小値がIs=1.91と耐震判定指標値 Iso=0.8を大きく上回っています。 しかし、保育室(れもん)の床に地盤沈下と思われる傾斜があり、壁にも貫通クラックが見られた点が気に掛かる所であるが、沈下箇所をジャッキアップした上でコンクリート補強をする事で解消すると思われる。							
4F												
3F												
2F												
1F	2.13	1.91										
最小値	2.13	1.91										
4 補強計画 (補強方法別に各階の補強箇所数、合計数を記入、所見に判定、Isoとの関係等を記入)												
	壁増設	壁補強	袖壁増設	袖壁補強	柱増設	柱補強	ブ増設	ブ補強	スリット	基礎補強	荷重軽減	その他
	5F											
4F												
3F												
2F												
1F												
合計												
5 付図 I (補強前後の代表階の①Ct-F関係、主要のCt値(RC造)、又は②qSt-F値(S造)を下記に記入)												
X方向〔 階〕		Y方向〔 階〕										
C値, qSt値		C値, qSt値										
1.0		1.0										
0.9		0.9										
0.8		0.8										
0.7		0.7										
0.6		0.6										
0.5		0.5										
0.4		0.4										
0.3		0.3										
0.2		0.2										
0.1		0.1										
0	0 0.5 1 1.5 2 2.5 3 F値	0	0 0.5 1 1.5 2 2.5 3 F値									
6 付図 II (主要構面軸組図、主要階平面図、補強計画等の概要を別紙(A4、2ページ以内)添付)												
7 特記	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート強度試験は、各階毎、各施工時期毎に3本以上のコアを採取することを原則とする。 ・コンクリートの調査値、診断使用値は全標本中の最低と最大を記す。 											